

第2回長崎大学ホームカミングデー 11月20日(土)

アンケート集計結果 回収89枚

【各学部等同窓会名】(70)

玉園同窓会(14) 工学部同窓会(12) 鶴水会(8) 瓊林会(8) 長葉同窓会(6)
長崎医学同窓会(4) 緑友会(2) 熱研同門会(1) 名誉教授(1)
薬学部(3) 水産学部(3) 経済学部(3) 教育学部(1) 環境科学部(1)
工学部(1) 生産科学研究科(1) 長大職員(1)

【年齢】(81)

10代(2) 2.5% 20代(13) 16.0% 30代(6) 7.4% 40代(10) 12.4%
50代(16) 19.8% 60代(17) 21.0% 70代(13) 16.0% 80代(4) 4.9%

1 今回のホームカミングデーへの参加の目的(111)

- a. 母校や学生時代への懐古、旧友との邂逅(15)16.8%
- b. 母校の変革への関心(18)20.2%
- c. 講演会、学生サークルの演技等への興味(69)77.5%
- d. ホームカミングデー・パーティーでの旧友との懇親(7) ...7.9%
- e. その他(2)2.2%

- ┌・役目から
- └・同窓会役員のため

2 全体的な構成及び内容について(86)

- a. 満足であった(54) 62.8% b. やや満足であった(21) 24.4%
- c. 普通(9) 10.4% d. やや不満であった(1) 1.2% e. 不満(1) 1.2%

3 上記の回答記号を選ばれた具体的な点(40件)

【良かったという意見】22件.....55.0%

- ・学生達の活動など見られて良かった。
- ・的川氏の話も素晴らしく、学生の一生懸命なパフォーマンスに感動した。
- ・吹奏楽部の年配者への配慮か選曲には感謝、楽しかった。
- ・学生のサークル活動にも少し触れて楽しかった。
- ・部活などの活動を知ることが出来て良かった。
- ・講演の内容が良かった。また第一ステージから第六ステージの演奏や演技と、数多くプログラムを組んでもらったのが良かった。
- ・キャンパスツアーが良かった。
- ・格調のある行事であった。
- ・はやぶさの講演が良かった。
- ・「はやぶさ」プロジェクトの話が面白かった。

- ・「はやぶさ」の講演が素晴らしかった。
- ・的川先生の講演が大変素晴らしかった。
- ・リアルタイムな内容で、講師のトークも洗練されて共感できた。一言一句をかみしめた内容だった。感謝。
- ・講演会がとても素晴らしいものだった。
- ・知らなかったことを知ることが出来た。
- ・何も期待しないで出席しましたが、プログラムとしてよくまとまっていたと思う。
- ・講演が的を得ていた。
- ・時期を得た講演内容で極めて良かった。
- ・講演が素晴らしかった。
- ・講演会は最高。あとは要らない。
- ・いとかわが良かった。
- ・興味ある内容であった。

【音響マイクに関する意見】 7件……………17.5%

- ・講演内容については満足。しかし、マイク音量が低く、聞き取りにくかった。
- ・話の内容はよかったが、マイクの混線にイライラした。
- ・講演は非常に良かったが、途中の混線が非常に不快だった。あれは失礼すぎる。
- ・電波混線が恥ずかしかった。
- ・マイクで外の音を受けていたのか、的川先生に申し訳なかった。
- ・マイクの混線の防止。
- ・素晴らしい講演を邪魔するようなマイクの雑音侵入を、止めきらなかったことは、大変いかん。情けない体制である。

【在校生、参加者等に関する意見】 4件……………10.0%

- ・学生も講堂にもっと入って欲しい。
- ・的川先生の素晴らしい話は、若い学生達にも聞いて欲しかった。呼び掛けはあったのだろうか。
- ・聴衆をもっと多く集める方法・工夫をする必要があると思われた。
- ・参加者がやや少ない。

【その他の意見】 7件……………17.5%

- ・母校の姿を見られたこと。旧友との懇談が出来たこと。
- ・各学部を通しての会を持つこと。
- ・マナーにならないような工夫も必要。
- ・模擬店より以上に宇宙的・研究発表のコーナーも是非。
- ・受付に「長大在学生」「長大教職員」「小・中・高生」がなかった。設けて欲しかった。資料を渡す参加者と渡さない参加者がどうして区別されたのか意味不明。一般人には不信感を与えたのではないか。2人に一袋というケースもあった。全員に一袋ずつ渡すべき。(長大教職員)
- ・サークルのステージはもっと少なくしてもいいのではないか。
- ・学園祭と同じ日にちにするものの是非。雰囲気騒がしい。

4 講演会について (89)

- a. 満足であった (84) 94.4% b. やや満足であった (4) 4.5%
c. 普通 (1) 1.1% d. やや不満であった (0) e. 不満 (0)

5 上記の回答記号を選ばれた具体的な点 (50件)

【良かったという意見】45件……………90.0%

- ・興味深い話だった。
- ・素晴らしい研究成果、歴史に残る成果であると思う。
- ・「はやぶさ」プロジェクトを知ることが出来て満足。
- ・技術の先端にいる講師の話が聞けて満足だった。
- ・話の内容、筋書、話し方等にとっても感動した。
- ・内容は大変面白かった。
- ・理系への興味を持つためによかったと思う。
- ・素晴らしいの一言。
- ・「はやぶさ」の講演が素晴らしかった。
- ・はやぶさの感動が伝わる、とてもいい講演だった。
- ・とても感動的な内容だった。ありがとうございます。
- ・的川先生の「はやぶさ」の講演に、すごく興味深い内容で良かった。
- ・内容を興味深く話してもらった。
- ・講演会、良かった。最後まできちんと聞いた。
- ・大きなプロジェクトを詳しく知ることが出来た。
- ・的川先生のお話し、とても楽しく聞かせていただいた。
- ・大変良い話だった。
- ・良く聞いた。
- ・大変楽しい講演だった。
- ・分かりやすく説明をしていただいたのが良かった。
- ・分かりやすい例えを入れていただき、楽しく聞くことが出来た。
- ・「はやぶさ」を多くの人が協力して行った事がよく分かった。
- ・7年間のスタッフの苦勞、努力が良く理解できた。
- ・最大の関心事だった。
- ・報道で分からないことが分かった。
- ・はやぶさの裏話まで聞いたのが良かった
- ・テレビだけでは分からない裏話が良かった。
- ・まさに、タイムリーな講演であった。
- ・時節にあった、また、興味のある内容であった。
- ・今一番話題になっている（関心が深い）内容の講演が良かった。
- ・タイムリー性もあったが、計画性も評価できる。
- ・今話題になり関心がもたれている「はやぶさ」に関する話が聞けて良かった。
- ・科学技術のお話でありながら、人の温かさや、どう生きたらよいかなど、沢山の事を考

えさせられた。

- ・話し手の人柄が感じられる感動的な話。難しい学問的内容をととても分かりやすく、話していただいた。
- ・幼い共感と感動が未来をつくる。
- ・適度の貧乏と幼い感動が未来を作るという、今後の展望への期待が語られた点。
- ・「はやぶさ」プロジェクトの講演。プリントを読んで理解を深めようと思う。
- ・科学者の忍耐強い、諦めない強い意志に感動した。考えられない苦勞が聞けて良かった。
- ・プロジェクトチームのメンバーの人間像をユーモアを入れての講演で、素晴らしかった。
- ・感動、共感、ぜひ子供たちに話したい日本人の素晴らしさを。
- ・はやぶさプロジェクトの苦勞話を、面白おかしく話されていた点が面白く、大変満足できる内容だった。
- ・興味深い内容で、かつ、いくつかの貴重な示唆を頂いた。
- ・内容は良かった。外の音が気になった。他のプログラムとのすり合わせが必要。
- ・的川先生のお話が、実に映像的で判りやすく、世界的なプロジェクト「はやぶさ」の様子が判りやすく楽しく聞けた。行方不明になった「はやぶさ」が帰ってきたのは、的川先生やスタッフ皆さんの愛情、情熱が「はやぶさ」に伝わり、帰巢本能を呼び起こしたのではないかと思った。無機物でない有機物のような「はやぶさ」の素晴らしさとそれに支えられたスタッフの皆さんの粘りに感動した。
- ・スライドを使っただけの分かりやすい講話で、とても興味深いものでした。「はやぶさ」でなく「アトム」の呼称だったかも。

【音響マイクに関する意見】 3件……………6.0%

- ・素晴らしい内容の講演会だったのに、マイク不良？最後になってよく聞き取れるようになった、残念。
- ・いろいろ知ることが出来た。アンプの調整、もう少し高音をカットしないで、増幅して。
- ・講演内容は良かったが、マイクの混入（外部の声の混入）、外部の騒音で聞きづらい環境だった。今回以外でもマイクの調節不良を感じることもある。係りの方の気遣いを期待する

【その他の意見】 2件……………4.0%

- ・子どもが東京大学工学部で学んでいることもあり、相対性理論と量子論などの科学に興味を持つようになった。当然理解できないが。となると、宇宙はどのようにして出来たか、これからどうなるか。「はやぶさ」の講演があると知り、楽しみにしてきた。的川先生の本を、市立図書館で借りて予習しようとしたら、貸出中だった。
- ・仕分け人の誰かが、「何故世界一でなければ～」と言ったが、この人やそのスタッフに今日の的川先生のお話を聞かせたい。「現場が業を鍛える」という先生の言葉が印象的だった。奇跡の生還は感動的。

6 実施の時期（76）

- a. 今回と同じ時期が良い（71）93.4%
b. 今回と違う時期が良い（3）4.0%

- {
・10月頃
・10月のおくんち辺り。
・遠方の卒業生も参加しやすい時期が良い。

- c. その他（2）2.6%

- {
・ゴールデンウィーク直前がいい。近隣高校の理系クラスになった2年生にも声をかける。在校生も呼んでいい。
・他県の方が来やすい連休の初めなど。

7 次回のホームカミングデーにおける講演会で希望される題材等（15件）

【科学に関するもの】 7件46.7%

- ・世界の先駆けとなっている様な事を聞きたい。
- ・ハーバード大学の“正義”の講義のようなもの。
- ・若い人の“ゆめ”を育てるもの。
- ・鯨に関するもの。
- ・健康に関するもの。
- ・科学技術の重要性。
- ・宇宙・生命。

【時世に関するもの】 3件20.0%

- ・直近の話題。
- ・今回のような、その時々々の話題の講演。
- ・今回のように、現在注目されていること、また話題となっている内容の講演が良い。

【講演者に関するもの】 3件20.0%

- ・「明治前後の長崎」をテーマとする。栗林氏（写真家）を呼ぶ。数学者を招くのもいい。
- ・NHK会長等、活躍の方の講演。
- ・文化面の先生方も結構だが、経費の関係もあるものの、スポーツ面の方も良いのでは。

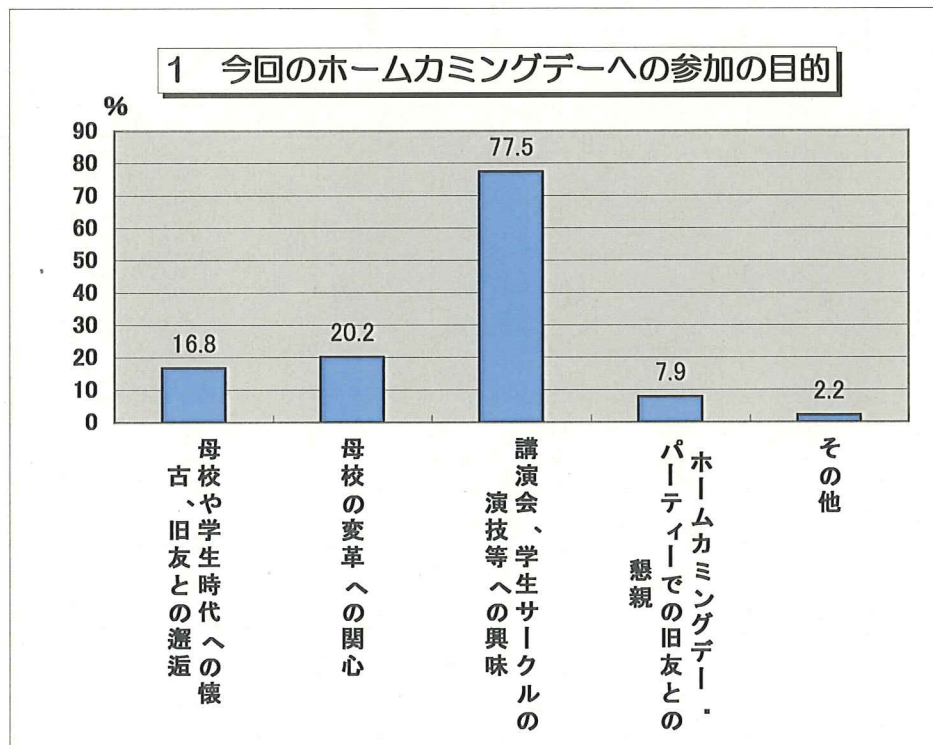
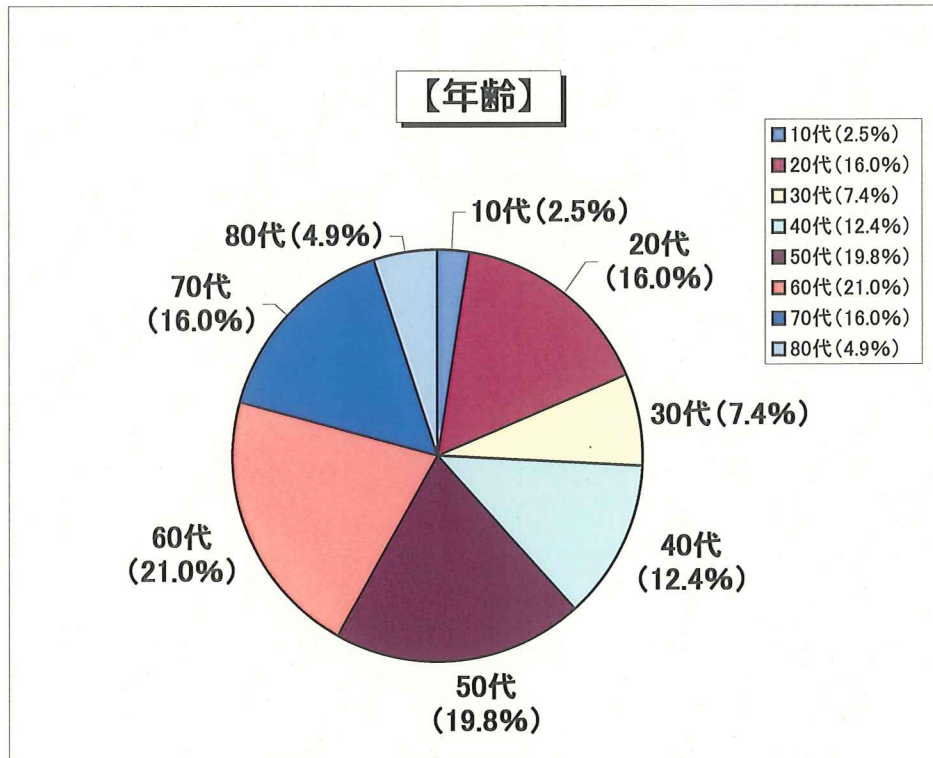
【長崎大学、長崎に関するもの】 2件13.3%

- ・長崎大学が日本の将来をどのように捉え、どのように関わろうとしているか。
- ・長崎に関連のあるもの。核廃絶に関するもの。

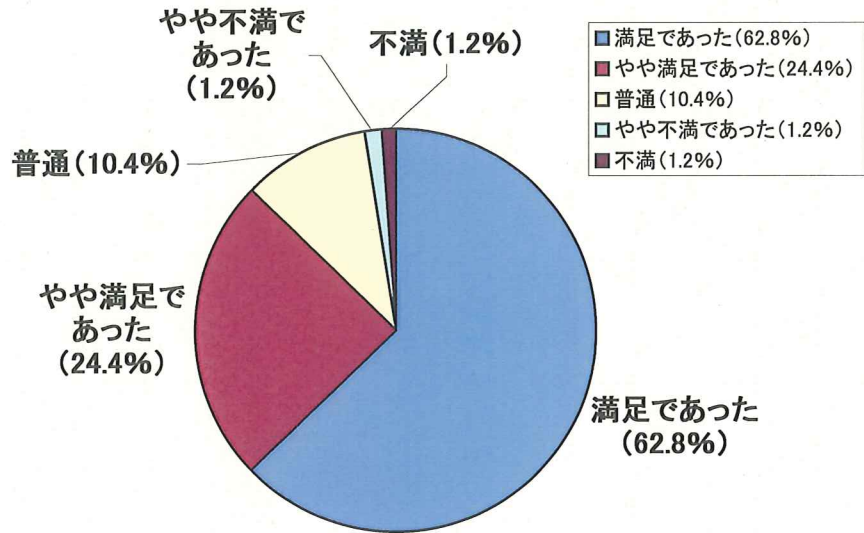
8 次回以降の参加の意思（76）

- a. 参加する（42） 55.3% b. 参加しない（1） 1.3% c. 分からない（33） 43.4%

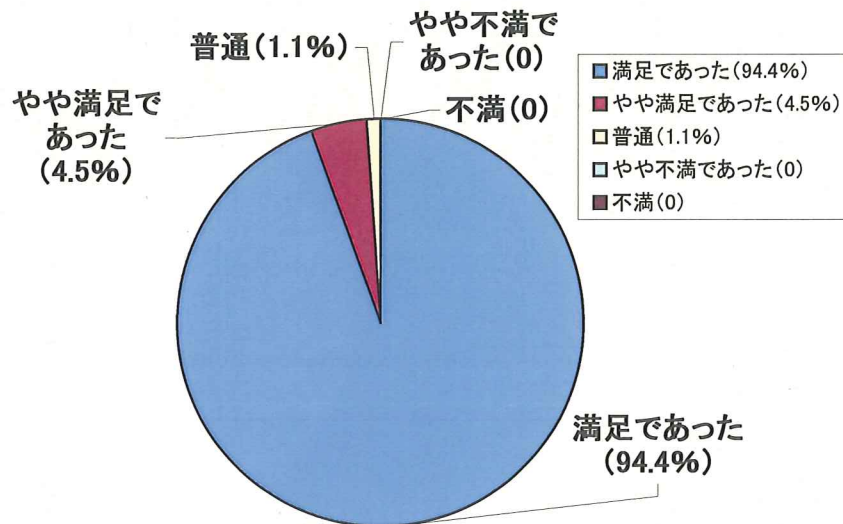
第2回長崎大学ホームカミングデー・アンケート結果



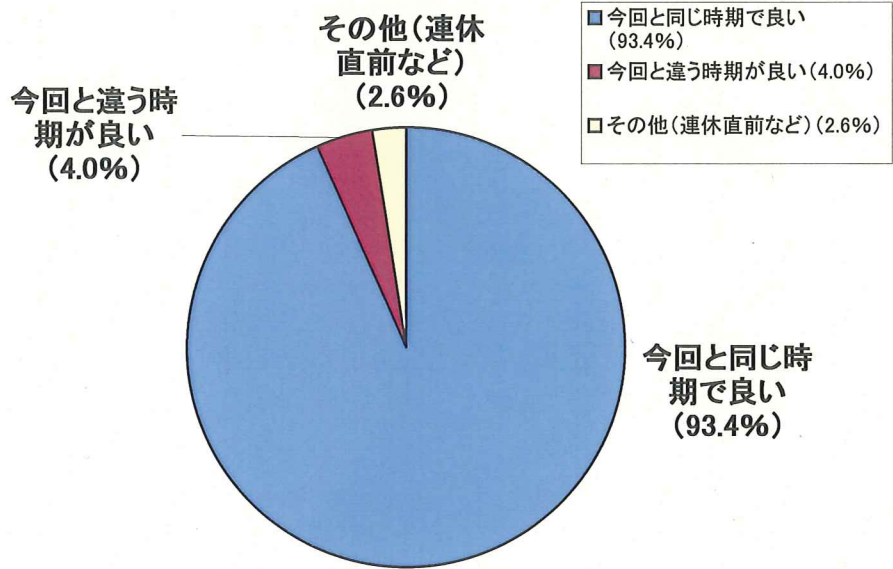
2 全体的な構成及び内容について



4 講演会について



6 実施の時期



8 次回以降の参加の意思

